

1 履修上の留意事項

- ユニバーシティ・スタンダード科目はp.52～55に全科目を記載していますが、各学科の指定科目については各学科の教育課程表を確認してください。履修については、各学科で定めている卒業要件を確認のうえ、行ってください。

1 玉川教育・FYE 科目群の必修科目

- 玉川教育・FYE科目群に開設する科目のうち、右記に挙げる6科目は必修科目です。本学を卒業するにはこれらの科目を履修し、7単位すべてを修得しなければなりません。
- また、右記の科目は履修する授業がクラスごとに指定されています。授業時間割を確認し、定められた授業を履修してください。

科目名	注 意 事 項
一年次セミナー 101 一年次セミナー 102	授業内容により実施する場所が異なる
玉川の教育	実施内容等は、別途日程表が示される
健康教育	原則として、実技と理論を隔週で実施 初回のガイダンスで日程表を別途配布（授業の場所等を含む）
音楽 I	授業の場所は、始業時にプリントで通知
音楽 II	通常の授業の他に、12月に集中授業を実施（日程表を別途配付）

2 学際科目群の「生涯スポーツ演習」の履修

- 学際科目群の「生涯スポーツ演習」は、球技・水泳・スキーなどさまざまな種目が開講されますが、履修できるのは1種目のみです。

■「生涯スポーツ演習」（スキー）の履修

- 「生涯スポーツ演習」（スキー）を履修するには、秋学期に実施されるガイダンスに出席する必要があります。ガイダンス日程に関しては、UNITAMA掲示で連絡します。ガイダンス後、履修希望申請を受け付けますが、定員を超過した場合は抽選が行われます（定員についてはガイダンス時に連絡します）。この授業は、参加者名簿をもとに履修登録されますので、別途履修登録をする必要はありません。単位認定は翌春学期末になります（第6セメスターまで履修することができます）。
- また、履修にあたっては、実習費用（実費）が徴収されます（金額については、ガイダンス時に連絡します）。
- 他の科目と同様に、修得済みの科目を再度履修することはできませんので、すでに他の種目で「生涯スポーツ演習」を修得している場合は履修できません。

3 ELF科目の履修レベルについて

- ELF科目の履修レベルは原則として、*TOEIC Bridge*® IP テスト または *TOEIC*® Listening & Reading IP テストの点数によって決定します。これらのテストは、春学期から必修科目として履修する場合は入学時、秋学期から必修科目として履修する場合は春学期の後半に実施します。しかしその後、実際にELF科目の授業を受けて、自分の英語力と履修レベルの関係がふさわしくないと思うときは、以下の条件を満たしていれば、履修レベルの変更が学生の申請により認められる場合があります。

■レベル変更の申請の条件

- 原則、必修科目として履修した最初の学期にのみ、自分の英語力が、実際のクラスの履修レベルより高いと思われるとき、より上位の履修レベルに変更を申請できます。（例 ELF 101→ELF 201）

■レベル変更の申請手続きについて

- ① ELF科目を最初に履修した学期の終了後、次の学期の履修登録前に行ってください。期限や手続き等については、ELFセンターからのUNITAMAの掲示を確認してください。
- ② 指定の申請方法で期限内にELFセンターに申請してください。
- ③ ELFセンターは、関係者（科目担当者、学部教務主任、学科教務担当）と協議し、その可否を回答します。
※レベル変更の申請は在学中1回に限ります。
※レベル変更の申請が認められた場合は、それを取り下げることはできません。

■レベル変更の許可条件

- 当該学期の成績評価がSまたはAであり、かつ、*TOEIC*® IP のスコアが変更先レベルの基準を満たしていることを含め総合的に判断します。

4 ELF科目の同時履修について

- 原則、ELF科目の履修は、各セメスターあたり1科目（4単位）となります。同一のセメスター内で同時に2科目（8単位）の履修はできません。